

平成 18 年度第 6 回 太田地域協議会会議録

と き : 平成 18 年 12 月 12 日 午後 7 時～

と ころ : 太田文化プラザ「多目的ホール」

太田地域協議会会議録

平成 18 年 12 月 12 日 (火曜日)

議 事

議事 第 1 号 平成 18 年度地域枠予算について (資料 1)

- ・ 冬季少年野球教室

第 2 号 平成 19 年度大仙市太田地域主要事業について (資料 2)

第 3 号 平成 19 年度地域枠予算について (資料 3)

報 告

平成 18 年度地域枠予算執行状況について (資料 4)

出席した者の氏名

出席委員 (13 名)

加藤進委員

伊藤昭子委員

大信田弘喜委員

大信田康雄委員

草薨太郎委員

倉田良子委員

小松誠委員

今野勝代委員

鈴木弘之委員

高橋美佐緒委員

田口誠毅委員

福原榮司委員

藤原鈴司委員

欠席委員 (5 名)

小松一男委員

佐々木ミネ子委員

鷹觜信行委員

田口良平委員

藤澤由希子委員

太田総合支所

太田総合支所長

鷹觜 均

地域振興課長

大信田哲男

地域振興課参事

川瀬京子

地域振興課副参事

鈴木喜一

地域振興課副主幹

鈴木セイ子

地域振興課主席主査

谷口藤美

地域振興課主査

小松明彦

午後 7 時 開 会

地域振興課長

本日は、お忙しいところご出席くださりまして誠にありがとうございます。ただ今から平成 18 年度第 6 回太田地域協議会を開会いたします。本日の協議会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 9 条第 3 項の規定により本会議は成立したことをご報告いたします。それでは早速会を開催いたします。最初に太田地域協議会加藤会長よりごあいさつをお願いいたします。

加藤進会長

みなさん夜分お疲れのところご参集いただきましてありがとうございました。今回は、夜はじめての会議であります。先日は、東部地区の地域協議会の研修会と言うことで、皆様方からご協力を頂き本当にありがとうございました。また、前回の協議会の際は、会議が重なって、時間の関係上取り計らいのほう、急いでしまい申し訳ありませんでした。あらためてお詫び申し上げたいと思います。今回の協議会の協議の内容ですけれども平成 18 年度地域枠予算の関係で、事業の追加と言うことであります。また、平成 19 年度大仙市太田地域主要事業について、それから、平成 19 年度地域枠予算について、の主に 3 件であります。そのほか、報告としまして、平成 18 年度地域枠予算執行状況についてであります。皆さんから、忌憚のないご意見をいただければありがたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。今日は、どうもありがとうございました。

地域振興課大信田課長

ありがとうございました。それでは、次に太田総合支所の鷹嘴支所長からお願いいたします。

鷹嘴均支所長

師足の半ば、しかも、寒い中の夜の会議ご苦労様でございます。平成 18 年度は、市のほうでは、大仙市の礎えの年というふうに位置付けております。12 月にもなったわけではありますが、委員のみなさんにおかれましては、この間の東部地区の合同の研修会での意見交換等なされまして、地域協議会の役割等ある程度方向性が見えてきたのではないかなーと感じているところであります。また、平成 18 年度新たに始まりました地域枠の予算、これをどう使ってどう地域に生かしていくのか、こういう課題にも光が見えた、こういうふうを感じております。大仙市の状況であります。平成 19 年度の予算編成方針が先に示されましたが、通常であれば、各課からの予算の要求書を積み上げて、歳入と見合う分を予算化していく、査定という行為があるわけですけれども、平成 19 年度の方は、絶対に必要なもの義務的経費と申しますけれども、例えば

借金の返済、社会保障の関係、人件費そのような経費を除いた残りを配分するという方式に改めました。大変厳しい財政状況であります。そのような厳しい中でも普通建設事業といいますか、投資事業があるわけで、これは、最低限やらなければいけないことで、投資をやらなければ、ただ維持をして、給料を払っているだけの団体になってしまうわけでありまして。経常的経費を絞ったということでありまして。そのようななかにおいても地域枠は確保していくということでありまして。厳しい財政の中でどうやって地域を活性化させていくのか、新たな大きな課題と申しますか、その地域によっては、めりはりのついた事業が取り組まれると感じております。今日は、平成 19 年度の主要事業についてと、地域枠予算についてご審議されるようでありまして、この地域を生かすも殺すも地域協議会の役割と言っても過言ではないのではないかと、私たち、市長に使われておりますけれども組織上は、地域協議会の下の職員という身分になってございます。ひとつ今後ともよろしくお願いいたします。

地域振興課大信田課長

それでは、さっそく会に入りますけれども進行を会長にお願いいたします。

加藤進会長

さっそく、会に入りますが、その前に、会議の議事録署名委員を私の方から指名させていただきます。藤原鈴司委員と大信田弘喜委員にお願いいたします。みなさんのご質問・意見等については、議事録作成の関係上挙手してマイクを使用させていただきますようよろしくお願いいたします。それでは、おてもとの会議次第に基づいて進めさせていただきます。議事の第 1 号「平成 18 年度地域枠予算について」、資料が事前に配布されておりますので事務局の方から簡単に説明お願いいたします。

地域振興課鈴木副参事

地域枠予算事業説明書により説明。

地域枠予算の追加と言うことで、これは、第 5 回地域協議会の際鈴木弘之委員からお話があった内容を説明書として皆さんに提案してございます。

平成 18 年 12 月 29 日午後 1 時から 3 時ごろまで、太田交流プラザにおいて、北海道日本ハムファイターズの伊藤剛投手とディレクターの箕輪忠行さんという方を招いて野球教室を行うものであります。予算の方は、13 万 5 千円でございます。これでだいたい 4 9 9 万 7 千円で地域枠予算最後の事業ということになります。

加藤進会長

ありがとうございました。何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

今野勝代委員

鈴木委員の企画について、私は、正にタイムリーヒットだと思います。是非実現させたいと思います。この鈴木弘之委員の企画で思ったんですけれども、これは、正に今ですよ、今、これだと言うのを常に私もアンテナを張りめぐらせて発見していけたらなーと思いました。大賛成です。

加藤進会長

ただいま、今野さんから大賛成というご意見でありましたが、皆さん他にございませんか。はい、田口誠毅委員。

田口誠毅委員

大変いいことだと思います。冬休みに入ってからでありますし、子供たち体を動かす機会を兼ねることからしても、100名集まればちょっと狭いかなとは思いますが、これに加えて、町内の野球の指導者も一緒に聞いた方がこれからの指導にも役立つのではないかと思います。

加藤進会長

ありがとうございました。事務局の方どの程度考えているでしょうか。

地域振興課鈴木副参事

実質的には、今日の地域協議会の会議が終わらないと正式に動けないということではありますが、公民館の方で鈴木弘之委員が西仙北の方とも連絡を取り合っていて進めておるようです。いずれ今日承認いただければ、明日から全面的に行動しようということでもあります。事務局では、15日に市長の決裁を受ける予定で準備を進めたいと思っております。

鈴木弘之委員

承認いただいてからお話しようと思っておりましたが、皆さん承認して下さると思いますのでありがとうございます。

当日は、太田地域・西仙北地域の子供たちと指導者の方も付いてきてくださいということでご案内を差し上げようと思っております。2人では、100人の子供たちの面倒は無理ですので、親、兄弟が来てくれるよう呼びかけております。大丈夫です。ありがとうございます。

加藤進会長

田口誠毅委員よろしいですか。

藤原鈴司委員

大賛成ですが、経緯ですけれども、太田と西仙北になった理由は、何かありませんか。

鈴木弘之委員

太田と西仙北ということですが、伊藤剛さんという方は、神奈川県出身の方であります。大仙市とは、ほとんど関係のないところの出身ではありますが、奥さんが大仙市の刈和野の出身でこちらの方に家を建てて通っているという感じのようです。今年のイースタンリーグの試合の際にこちらの方でピッチャーとして登板いたしまして家族みんなが応援に来た経緯があります。大仙市の中には、プロ野球選手はこの人しかいないということですし、地域としてもよその出身の子供たちですけれども盛り上げて応援してやりたいと思います。日本ハムですけれども今年たまたま日本シリーズで優勝しました。地域でスポーツを応援すれば地域が盛り上がっていくような感じでイメージをしております。そういうことで西仙北の子供たちと一緒にやりたいということになります。

藤原鈴司委員

他の地域から、なにしてくちの方に教えてくれなかったかと言われた場合のことを考えてチョット理由を聞いただけです。ありがとうございます。

加藤進会長

他にございませんか、ないようですので、議事第1号「平成18年度地域枠予算について」は、ご承認いただいたものといたします。

会場全委員 拍手

加藤進会長

次に、議事第2号「平成19年度大仙市太田地域主要事業について」事務局の方から説明願います。

鷹嘴均支所長

平成19年度「大仙市太田地域主要事業調書」について説明。
あくまでも予算要求の段階でありまだ査定が終わっておらないので、決定した

ものではない旨。

加藤会長

はい、ありがとうございました。平成 19 年度の太田地域の主要事業ということで、本庁の方へ予算要求しているものの主なものを説明いただきました。皆さんから、なにか是非ともお聞きしたいという事がありましたら承りたいと思います。はい、どうぞ。

小松誠委員

16 ページの公民館の洋式のトイレ工事の件ですが、太田町内の各小中学校のトイレは、洋式化になっていますか、(事務局 = 年次計画で順次やっているはずですので終わったはずです。) 実は、資料を見たときここまできたのかなーと思いました。洋式を使うと気張るという事ができない子供が出てくる、将来、排便、大腸のがんとかに非常に関係すると今から 30 年ぐらい前に出ているデータなのですが、そこいらへんを教育の面からもうチョト精査して、考えて欲しいと思いました。

鷹嘴均支所長

但し、全てを洋式にするものではありません。一部だけあります。和式の方も設置してあります。どちらも使えるということでもあります。

大信田康雄委員

2 ~ 3 点お伺いしたいと思います。

第 1 点は、この主要事業の予算要求の際に、優先順位そのようなランク付け等求められているのかどうか、もしそういう財政等の折衝でそういうものがあるとなれば支所としては、どのようなランクで要求しているのか。第 2 点目は、要望と言いますか、常日頃感じていることではありますが、交通安全の面で主要道路の中で歩道の無い道路がありまして、太田町内の道路を全て把握しているわけではありませんが、1 例で申し上げますと、太田中学校から古館の方へ行く道路ですが中学校の生徒さんが通るわけですが、なぜあの道路へ歩道を付けられないのか、金も相当かかるわけですけれども、その後消防本部のあったところから新しく駒場の羽黒道の方へ出来た道路には立派な歩道が出来ているし危険もないので、そこら辺のところ、支所の方で考えているのか、また今までもそのような予算の要求を考えていただいているのか、あるいはこれからなのかその辺のあたりを伺いたいと思います。最後、3 点目ですが参考までお伺いしたいのですけれども山荘の水源確保の問題ですが最初から地下水を活用

しているようですが河川水、あるいは伏流水を活用するという考え方はできないものか、だめで地下水になっているのかそこら辺参考までにお知らせいただきたいと思います。以上であります。

鷹嘴均支所長

第1点目の主要事業についてランク付けがあるのかということですが、一応それぞれの本庁の担当部所でヒアリングをしております。当然ランク付けはして、要望の優先順位はしておりますが、その中で支所同士のバランス等も考えまして調整もあるようでございます。さらに査定でありますから財政課長のヒアリング、助役のヒアリング、市長のヒアリングがありこのような流れになっております。ただ支所ではどうやってランクを要望して行ったのかといいますと、春に11箇所で行いました地域づくり事業「太田地域を語る市民の集い」等を通して地域の要望等を考えまして順次あげていったというものであります。また、支所としての課題は、どうとらえているのか、支所の課題ということで、今度、私と市長との協議の場が12月18日行われます。その中で絶対実施してもらいたい事項8項目ほどありますが、これの中でも当然各支所間のバランス等を考慮した結果になるだろう、要望はしますが査定を受けなければわからない、と言うのが実態であります。それから、第2点目ですが歩道の無い道路の件ですが、確かに一部に歩道があって、途中から歩道が無いという道路も結構ありますが、支所の前もそうです。ただ、支所前の窪関古館線に限って言いますと用地買収の経費の関係でやれないということでありまして、それでは、通学路を整備しましょうということでも新田を通って築地古館、今泉、スキー場の入り口までの通学路というのを整備いたしました。ただし子供が少なくなってきたり逆に危険というような状態であります。この地域の課題としては、今やっている村づくり交付金事業で一応農道等は、整備できますので、この次は、支所前の窪関古館線については、2次改築ということで計画は持っております。角六線の県道については、県の方に要望してございます。それから第3点目水源の問題については、水利権の問題がありますし、量が確保出来ないという問題もありまして、当初から安全な水ということでポーリングという考え方があります。

加藤進会長

他にございませんか。はい、鈴木弘之委員。

鈴木弘之委員

シルバーシャトルバスについてですが、羽後交通に委託しようとしているよう

ですけれどもタクシーとか経費の面で他の方法は考えているのか、もうひとつ4ページですが、集落防災安全施設として防火水槽10箇所計画されてありますが、これについては、地域で手を挙げれば、防火水槽を設置していただけるのか、それから、13ページの簡易水道水質検査経費ですが、水質検査にはどの位経費がかかるものでしょうか。15ページですけれども、農業集落排水事業費ですが、各地区の供用率はどうなっているでしょうか。補助事業の対象にならない、末端1戸の管路の施設整備を行うとありますが、接続すると言う確約書を取っているのか。以上です。

加藤進会長

はい、事務局のほうお願いします。

鷹嘴均支所長

第1点目のシルバーシャトルバスの件ですが、合併前の当初から、規則で羽後交通に委託するという条文になってございます。その後、民間の業者から参入したいと言うことでいろいろ要望あったわけですが、1番の課題は、経費の面だけではなく、安全性が求められる、もし何らかの事故があった場合そちらの対応がどうなのか、経費だけではなく、総合評価方式ということが求められている。今の段階では、まだそういう考え方ではありますが、太田だけではなく大曲の循環バスの問題もあります。「地域公共交通会議」その場で議論されていくだろう。陸運局の方でも、経費は、非常に大事ではあるが経費だけではないよということでありまして。第2点目防火水槽であります。村づくり交付金事業ということで農水省の事業計画を受けたものでございます。その中では、函面に防火水槽の必要箇所を記入して添付してあります。数百メートルの移動は可能であるが、三本扇に計画したものを国見と言う事は、無理のようでありまして。

第3点目、簡易水道水質検査経費の件ですが、これは、年数回義務付けられている検査の費用であります。太田地域には、簡易水道組合4箇所、小規模水道組合1箇所があります。大変恐縮ですが、額は、度忘れしてしまいました。が浄水48項目で30万円位と思います。第4点目農業集落排水の供用率のことです。大町地区は、50パーセント位、横沢地区については80パーセント位、小神成地区については、まだ日が浅く、40数パーセント位だと思います。正確な数字をつかまえておらず申し訳ございません。横沢地区であります。維持管理、供用率の関係から表彰も受けてございます。それから、末端1戸の関係であります。事業、この地区に取り組む段階で承諾書ももらってございます。当然その段階で接続してくれるだろうと言う確認はしてございます。た

だ接続には、お金がかかることですので実際接続しておらない家もあるようです。

供用率を上げると言う事は、経営にもかかわることで、当然監査委員の方からも指摘を受けてございますし、もっともっと督励に力を入れていかなければと思っております。

加藤進会長

鈴木弘之委員、よろしいですか。他に、是非ともお聞きしたいという事がありましたら。

田口誠毅委員

議場の改築と言うことで平成 19 年度の予算にのってきたわけですが、要望になるとは思いますが、エレベータも取り付ける予定である、資料も展示すると言うことですが、最初は、皆さん、ものめずらしくて集まるが、だんだんに人が集まらないと言うのが、良くある博物館、展示館であります。みんなが、行って見て憩いの場として未永く集える場所となれるような、部屋創り、展示の仕方等お願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

鷹嘴均支所長

はい、承知いたしました。本来であれば一気にやるべきところかも知れませんが、経費だけではなくですが、フラット化にして、その後どういうふうな機能をつけて利用者をどうするのか、そこいら辺のコンセプトがまだきっちりしていないということもありまして、地域協議会の意見もございましたし、とりあえずフラット化にしましょうかというのが今回の要求であります。いずれやる場合には、利用対象者の範囲、展示物の種別等についてももっともつつめる必要があろうかと思っております。改めて、地域協議会の審議の場へ上げざるを得ないと思っております。十分尊重いたします。

加藤進会長

田口誠毅委員よろしいですか。事務局の説明には、事務局案、皆さんの意見もございましたがこれは平成 19 年度の太田地域の主要事業の説明と言うことでこの辺で止めたいと思っておりますがいかがですか。無いようですので、次に移らせていただきます。「議事第 3 号平成 19 年度地域枠予算について」これについては、若干追加されておりますが、前回の地域協議会で説明を受けておりますので簡単に事務局の説明をお願いいたします。

地域振興課川瀬参事

資料3により説明。

事務局案、地域協議会委員、団体、各課からの提案を合計しますと、1,472万円となること、全て実施するのは、無理であり創意工夫によりできるだけ多くの事業を実施できればと思うところですが、事業内容によっては、他の課との協議、調整が必要なものもあるようです。事業の優先順位等についてどのような方法で決定したらいいのか、その方法について皆さんでご検討いただきたいと思います。ただ現在のところは、平成19年度の予算の内示が未定でありますので、昨年でありますと予算内示でゼロと言うものを地域枠の方ですい上げたものもございましたけれども、今年度につきましては、財政課長ヒアリングこれが、12月25日から1月12日に予定されておりますがその際、地域枠予算事業の計画書を提示するようにとの本庁の方からの指示を受けております。いずれ、太田地域としては、どの事業を優先的に進めていくのかを皆さんでいろいろ協議いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

加藤進会長

ありがとうございました。今ご説明がありましたように今日決定することにはならないと思います。いずれ、本予算に要求されているものもあるようですし、事業費についても今年度と同じだとすれば、500万円だと思いますが、1,000万円を超えると言うようなことになっておりますので、事業の選定方法も含めて皆さんから意見をお願いしたいと思います。いずれこれを選定するとなりますとかなり難しい問題ではないかなーというふうに思っております。皆さんのご意見等を伺って選定の方法等について協議いただき、いずれ最終的には皆さんに決定いただくということになるかと思っております。事務局案と委員のみなさんの提案を含めてお願いしたいと思います。

はい、福原榮司委員。

福原榮司委員

私の案が大分ありますが、私としては、これを全て地域枠で実施して欲しいとは、考えておりません。ただ、一市民、一集落の方々の話を聞いて提案させていただきました6件であります。今年度も実施しましたが、市の方でも計画している「おおた地域を語る市民の集い」は、地域の声を聞ける大変いい機会だと思いますので是非実施したいと思っておりますが、今会長がおっしゃったように選定となると大変難しいと思っております。我々委員は、あくまでも提言、意見であって、実際は、当局の方針で精査して協議会に諮る方法でいいと思っております。どうしてもとなれば、会長、副会長にお任せいたします。

加藤進会長

はい、ありがとうございました。福原委員の意見であります。他にありませんか。

田口誠毅委員

ここに提案した意見と言うのは、皆さんそれぞれ思いがあって提案したと思いますので、その思いを聞いて協議し考えて、納得して、実施する。また、平成 19 年度に無理であれば、平成 20 年度の地域枠で実施という検討が必要ではないかと思います。

加藤進会長

はい、ありがとうございました。小松誠委員どうぞ。

小松誠委員

私の、提案した「秋田わか杉国体歓迎幟旗 1 家族 1 本運動と、移動花車」ですが、前回秋田で行われた国体、私が小学校低学年の時でありましたが、「秋田まごころ国体」として記憶に鮮明に残っております。是非、来年の国体には、花と、幟旗で太田をアピールし、地域みんなで歓迎したい。そういった思いです。それから、事務局案ですけれども、「集落会館等周辺施設環境整備事業」ですが、この事業は、東部地区の研修会の際、仙北地域では、会館の舗装補助と言うことで結構あったようでしたが、太田地域では、平成 18 年度はなにもありませんでしたが、これについては、地域から要望あったということですが、そこいら辺の経緯を聞きたいと思います。

加藤進会長

はい、事務局お願いします。

地域振興課鈴木副参事

「集落会館等周辺施設環境整備事業」ですが、太田地域の場合、平成 17 年度から、会館等補助金を受けて整備しておりますが、建物そのものは、新築の場合は、2 分の 1、550 万円が限度であります。あるいは、改築の場合、3 分の 1 の市の補助金があり対応が出来ますが、たまたま、改修した集落で、会館の前の砂利道とか段差のあるところの補修、舗装をしたいということで、いくらかでもいいので支援できないかと言うことで要望があります。会館周辺の環境を整えると言うことで原材料費あるいは、機械の借り上げ等を支援していきたいと言うことで案として考えました。今現在 3 集落から要望が

来ております。

小松誠委員

わかりましたけれども、各集落で市の補助を受けて、会館の建設、補修なりをする場合は、建物だけではなく、舗装等まで集落できっちりとやっていただかないといけないと思います。これを地域枠にお願いするということは、趣旨に合わないような気がします。確かに、該当する項目ではあるかもしれませんが、そこいら辺もう少し、精査していただければと思います。これは、意見です。

加藤進委員

他にありませんか。

藤原鈴司委員

皆さんから、出た地域枠予算については、私も出してはいますが、やり方として、それぞれ思いの強い人からは、発表していただき、「私は、提案したからいいですよ」と言うのであればそれで終えて、やはり精査については、行政の方からきっちりとやっていただく。もうひとつですが、地域枠予算の事務局案の方ですが、「立教大学野球部夏季合宿報償費小・中学校への野球指導謝礼」のことですけれども、交流を求める事は、大変いいことですけれども、立教大学ですのでもチュア野球です。私も大学時代地域といろいろ関わって野球、卓球をやってきましたが、アマチュアとして考えたときに、太田に来て合宿させてもらいました、いろんないい思いをさせてもらいました。その恩返しとして地域の子供たちを呼んで野球を普及したい、教えたいというのが普通のような気がします。町民からなんらかの意見が出ないのかなー。と、チョット気になる場所ですので、ここら辺で理論武装しててもいいのかなーと思いますけど。以上です。

加藤進会長

はい、ありがとうございました。他に、ありませんか。

鈴木弘之委員

「集落会館等周辺施設環境整備事業」の原材料費 130 万円とありますが、私勘違いかもしれませんが、合併するとき、地域のほうに町の方からお金を頂きそれをストックしているようですが、私の方の部落上堰ですが、その予算を、会館の修理等に使用しましたが、それとダブる感じがしますけれども、それでいいのでしょうか。不思議ですが。

小松誠委員

私も、そう思います。上・下齊内集落ですけれども 200 万円くらい頂きましたから、それを元手に、今補助金を頂いて会館の整備をしました。もちろん建物だけですから周りの環境整備はありませんけれども、少なくとも、会館の維持費用のため、30 万から 50 万円は集落として蓄えてきているわけです。これは、自分たちの自己財源です。この貯蓄を周りの環境整備費用にしたと言う経緯もありますので、やはり、建物は、建てたけれども周りの環境までは、考えていないと言う事はおかしいと思います。先ほども言ったように私は、違和感があります。もうチョット精査して欲しいなと思います。

加藤進会長

事務局なにかありませんか。

地域振興課鈴木副参事

これは、決まったわけではありませんので、皆さんの意見を踏まえまして精査して行きたい。委員の方々からもいろいろ提案が出ておりますので合わせまして精査して行きたいと思っております。

鷹嘴均支所長

私の方からチョット述べさせていただきます。合併前に旧太田町から各地域にお金があったわけでありますが、これは全て会館のためと言うわけでもないわけであります。本来であればあの会館というのは、町でお金が無いため県の方の事業へ組み込んでもらったり、県の補助をもらったり、いろいろな制度を利用しながら地域に会館として建てたものであります。ですから中には、県の補助の関係で児童館となっているものもあります。非常に古くなったので、改修の費用をどうしようかと、あっちこっちから補助の問い合わせがありましたが大変な対応できなかったのが実状でありました。合併しましたら旧大曲では、こういう補助制度をやっておりまして、いい制度だなー、太田地域では、非常に困っており、この制度を使って建物を直したらと、私個人の考え方ではあります、良かったなーと思っております。旧太田町からもらったお金は、もっと別のソフト的事業に使ったらいいではないか、お金の幅が広がったと見ております。地域枠の中で、会館の駐車場の整備とかありますが、根底には、地域の会館は、自分たちで維持管理するんだ、行政の世話にはならないよ。と言う考えであります、ただし、駐車場の整備となりますと多額の経費が必要なので助成対象にならないかと言うことでもあります。この事業は、大曲地域では、広報 9 月 16 日号に掲載ありましたように、「まるこ児童館」前のグラウンドの整地をこの地域

枠予算のなかで行っております。あと仙北地域では、各集落の会館前広場、駐車場の整備等にこの地域枠の事業として実施しているようです。ひとつお知らせしておきます。あと、立教大学野球部夏季合宿報償費のことですが、今まで立教大学が来た際は、大学の野球部の後援会の組織がございまして、毎年後援会、関係者が中心になり、歓迎会等をやっていたわけではありますが、合併になってからは予算が厳しくなり、財源がついておりません。太田地域をとり込んでみんなで応援して行きたいということでもあります。

加藤進会長

ありがとうございます。他にありませんか。はい、今野さん。

今野勝代委員

「太田地域を語る市民の集い」ですが、今までもやってこられて、当たり前のようにあると思っておりましたが、東部地域の懇談会に出たときに、太田地域のやっていること、やり方が素晴らしいということを周の声を聞いて気づいたんですが、やっぱりこれが、いい町にするも、何か物を決めるにも一番大事なことで、太田町では、支所の方々が11箇所に出向いてやっておりますが、さらに日中、出られない人のために夜にもやっております。そしてそれを文書に起こし、どう対処したか、今後どうするか、まとめて冊子にして出してくれました。市長さんとも話す機会がありまして、そのことを話したら、太田の支所がやっている事が素晴らしいと。こんなことを全部の支所でやって欲しいとおっしゃってございました。それをやりたいんだ、と。自分が大曲だけの市長だったときは、自分が出て歩けたけど、今は身がひとつしかないから出て歩けない。ところが、各支所で頑張ってくれていて、細かく書かれているこういう冊子、この生の現地の意見が大事なんだとおっしゃってございました。市長さんは、細かく目を通してくださっているんだな—ということも感動しました。そこで支所長さんをお願いですが、各支所長さん同士で集まる機会に呼びかけてほしい。他の支所の方でもこのような「市民の集いをやりましょうよ。」と、市全体が良くなって、みんなの意見が吸われていくような市になっていくようによろしく願います。

加藤進委員

貴重なご意見ありがとうございました。事務局の方よろしく願います。

鷹嘴均支所長

12月14日に、支所長連絡会と言う会議がもたれますので提案させてもらいま

す。

加藤進会長

時間もそろそろ差し迫ってきました。「平成 19 年度の地域枠予算について」、先ほどから意見が多いわけですが、行政の方の要求枠と、委員の皆さんの意見を集約したものを事務局の方から、まとめてもらった方がいいのか、あるいは、事務局と委員の皆さんの何人かを含めて話し合いをして、最終的には、協議会に諮って決定する。と言うふうにしたらいいのではないかなーと感じましたけれども、いかがですか。いずれ、平成 19 年度の地域枠予算の本予算も決まっておらない状況でありますので、1 月の末あたりになろうかと思えますけれども、事務局の方と、地域協議会の 4 人から 5 人程度で成案みたいなものを作って皆さんに諮るといいう格好にしたいと思えます。いかがですか。この場で、協議委員を選出したいと思えますけれども、選出方法どのようにしたらいいでしょうか？ 私に一任してくださいませんか。

(全委員、一任します。)

それでは、大信田康雄委員、倉田良子委員、今日、休んでおりますけれども小松一男委員、今野勝代委員、田口誠毅委員の 5 人の方をお願いします。開催予定はいつ頃か。

地域振興課鈴木副参事

財政課長ヒアリングが 1 月 12 日にありますので、出来れば、その時まで計画書を出すようにとは、本庁の方から言われておりますが、小会議で検討したものを地域協議会に諮らなければいけませんので、正確的なものは、無理と思えますが、8 割方は決めていきたいと思っておりますので、年明けの、10 日頃までは選んでいただいて、1 月の下旬ころには地域協議会を開催し、皆さんの意見を伺って方向性を決めたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいです。

加藤進会長

ただいまの事務局の提案ですけれども、よろしいですか。

(全委員 異議なし。)

よろしくお願ひします。

事務局

今選任されました委員の方々、今月中の会議開催は、可能でしょうか。夜でもいいですが。後で、5 人の方々と連絡を取って決めたいと思えますのでよろしくお願ひいたします。事務局の方でも、各課とも調整をいたしまして、

内容を精査いたしますのでよろしくお願いいたします。

加藤進会長

いずれ、5人の委員の方々には、事務局の方から連絡が行くと思いますので、よろしくお願いいたします。次に、報告ですが、「平成18年度地域枠予算執行状況について」、簡単に事務局から説明をお願いします。

地域振興課鈴木副参事

資料4により予算執行状況を説明。この資料は、11月30日開催の東部地域協議会の資料に、追加したものです。(2件、前回および今回の地域協議会で決定されたもの、1月15日開催の「太田地域文化講演会」・12月29日開催の「冬季少年野球教室」)芸術文化振興事業関係は、一部執行しておりますが、「みんなで創る学びの集い」については、3月実施予定となっております。それ以外については、実施、事業完了したものです。これ全部執行しますと、約500万円に近いかたちで事業実績が出来るのかと思っております。

加藤進会長

ありがとうございました。なにか、ご質問等ありませんか。

(全委員なし)

無いようですので、その他に入りたいと思います。はい、どうぞ。

伊藤昭子委員

「おおた読み聞かせボランティアグループ虹」の会の提案させてもらいましたけれども太田北小学校と太田南小学校に週2回訪問して活動しております。高橋勝子先生が代表となって活動、勉強しているグループですのでよろしくお願いいたします。

藤原鈴司委員

提案ですが、10月3日に、地域教育懇談会と言うのがあって、私、PTA会長ということで参加しました。太田と中仙地域であります。教育長、各教育委員会分室長等々教育委員会に関わるの方々ほとんどが参加していました。その会議の中で、今度は、学校の統合の問題を考えていきたい。その中には、小中一貫教育も視野に入れているという事が教育長さんからはっきりと言葉に出ました。これは、時代の流れとしてしょうがないことかなーとも思いましたが、地域協議会としての長期のテーマとして、意見収集と言う形で、毎回、地域協議会の最後のチョットの時間、学校教育についてどう考えるんだと言う意見を出し合

える時間が10分位あってもいいのではないかと、そして地域協議会としての方向性、意見を形にして地域の皆さんにお知らせするのも地域協議会の仕事、役割を担うのではないかなーと言う気がします。お互いに皆さんお持ちの情報、意見、思いをオープンに出し合ってお互いの思いをぶっつけあって、市長さん、教育長さんに届くように、例えば、学校統合にどのような結果が出ようとも、いい方向に持っていきたいなーと思います。いかがでしょうか。

加藤進会長

良いご意見を頂戴しましてありがとうございます。

小松誠委員

我々は、公募の委員ですが、各種団体から選出されてきている委員の方々、団体の状況あるいは、常日頃考えていること、いろいろあると思いますがそれらをどんどん出していただき、地域協議会で議論していくことも地域協議会の大事な役割だと思います。団体の方もいろいろな意見を出してもらえればと思います。

加藤進会長

はい、ありがとうございました。事務局の方で検討願います。ほかに何かございませんか。

草薨太郎委員

小松誠委員の意見に同感です。私の所属している職場の問題は、本当に、暮らしに密着したような、その日生活していくのも大変というようなこと、家庭内のもめごと等が主です。どうか自分の隣の問題として、皆様のご相談、知恵をいただければありがたいとっておりますのでそのような時間を若干とっていただければ大変ありがたいと思います。

加藤進会長

ありがとうございました。他にございませんか。なければこの辺で閉じたいと思います。どうもありがとうございました。

議事録署名委員